

インドネシア政府奨学金（ダルマシスワ）

【ダルマシスワって何？】

インドネシア政府の奨学金留学のこと。インドネシア国内 59 大学(2016/2017 年度データ)に無償で 1 年間留学することができ、生活費として月々 2〜3 万円ほど（都市によって金額が異なる）が支給される。近年の参加者数は毎年 500 人を超え、その出身国は約 80 各国にも昇る。インドネシアの教育文化省と外務省が協力した一大プロジェクトである。専攻できるコースは、インドネシア語、芸術／文化、サイエンスの 3 つがあるが、大半の留学生はインドネシア語コースを受けるので、基本的には語学留学という形になる。各大学には、インドネシア政府が指定する外国人インドネシア語学習者のための特別プログラム BIPA（Bahasa Indonesia bagi Penutur Asing）が設置されており、留学生は 2 学期間この BIPA の授業を受ける。

【申し込みから留学終了までの一連の流れ】

◇ 留学予定期間の前年度に申し込みをして、選考が行われる

例）2016 年 9 月からの留学は、2015 年 12 月〜2016 年 1 月あたりで募集が始まる

＜例年の流れ＞

12〜翌 1 月 募集要項開示・インターネット出願 →ダルマシスワ公式サイト <http://darmasiswa.kemdikbud.go.id>

2〜3 月 在東京インドネシア共和国大使館で面接

3〜4 月 各大学での選考期間

4〜6 月 最終選考結果発表→ダルマシスワ参加最終確認 ※第一希望に通らなかった場合や諸事情で参加できなくなった場合はここで辞退することができる

8 月末 ジャカルタにてダルマシスワ開会式→開会式後、各留学先へ移動

9 月 現地での授業開始

☆ 募集要項開示から最終選考結果までのスケジュールはずれることが多いので、気長に情報公開を待とう！

☆ 参加大学一覧はダルマシスワの公式サイトで閲覧可能

【注意点】

※必ずしも第一希望の大学に行けるとは限らない。志望動機を明確にして、なぜその大学に行きたいのかアピールすることが大切。志望大学についてのリサーチは必須！

※BIPA は政府指定のプログラムではあるが、統一の教材やカリキュラムがないため、クラスの内容は大学によって大きく異なる。授業が週 3〜4 回ある大学もあれば、週 1 回しかない大学もある。インドネシア語能力に応じたクラス分けの有無や、教員の質など、事前にどこの大学の BIPA が良いか調べることをオススメする。

※慶應では私費留学扱いで“休学”になるので、学年を繰越すことはできない。そのため、必然的に卒業が 1 年遅れる。

※BIPA は単位をもらえる授業ではないので、帰国後の単位換算は原則できない。

その他お問い合わせがあれば 507 へお越しください！！

【SFC からの参加実績】

2013 年度 Universitas Indonesia (デボック) 2 名

2014 年度 Universitas Negeri Jakarta (ジャカルタ) 1 名

Universitas Negeri Malang (マラン) 1 名

Universitas Sebelas Maret (ソロ) 1 名

Univeristas Sriwijaya (パレンバン) 1 名

2015 年度 Univeristas Diponegoro (スマラン) 1 名

Universitas Negeri Jakarta (ジャカルタ) 1 名

2016 年度 Universitas Pendidikan Indonesia (バンドン) 1 名

Politeknik Negeri Malang (マラン) 1 名

2017 年度 Universitas Airlangga (スラバヤ) 1 名

Universitas Muhammadiyah Malang (マラン) 1 名

Universitas Padjadjaran (バンドン) 1 名